

新潟シティガイド

NO. 22号
《編集発行》
新潟シティガイド
《発行人》
関 克人

まち歩きとBRT

新潟・フランス協会会長



本間 疆 様

この夏、いよいよ新潟市の街なかにBRTが走行することになった。「待ちに待ったBRT」というよりも、あたかも鬼子のように市民からの期待感が薄い開業となる。賛成と反対が半々、もしくは反対の方が多しと言われる現状はやるせない気持ちになる。BRTに對して賛成か反対かという論議よりも、私にはこれからの公共交通をどうするかという視点が著しく欠落しているように思う。

当時、開業に伴って市民にアンケートをとったところ、賛成と反対が半々となりコンセンサスを得ることが出来なかった。しかし時を重ね、今ではLRTが四路線完成し、その基幹軸を補完する形でBRTが一路線運行している。開業してから三十年が経過した。二〇〇八年、ナント市民の公共交通に対する意識調査では九十三%の市民が賛成に廻り、しかも「ナント市の公共交通を誇りに思っている」と答えている。暮らしの中に寄り添うLRTやBRT、バス、レンタサイクル、渡し船などナント市のもとに一元管理され、一枚のチケットで交通機関のすべてが利用できる市民の足となっている。

私たちがナント市から学ぶことは、「二十年」という歳月だと思ふ。新潟市の公共交通計画の全体像や二十年後はどのような形になっているのか。偏にこのことを説明すべきではなかったか。惜しむらくはBRT



B R T

が中心の説明となり、将来に至る計画の全体像を見せられなかつた不満が賛成に投げられなかつた理由だと思ふ。

- ・聞いたことは忘れる
- ・見たことは思い出す
- ・体験したことは理解する
- ・発見したことは身につく

ワンでサッカーの観戦をして、万代シティで買い物をする。古町ではレストランや割烹で夕食をとり「シティガイド」とまち歩きを楽しむ。観光客や地元で暮らす人々にも「BRTとまち歩き」は相性の良い組み合わせとなる。新潟駅付近で本や電気製品などを買って帰る。利用の仕方により一本のBRT路線内で日常の行動が実に幅広くなる。つまりライフスタイルに新しい変化が生まれ、豊かで楽しい暮らしに繋がってゆく。新しい公共交通はそれが目的ではなかつたのか。課題として、BRTは専用走行路を設置して速達性を前提にした定時運行が達成される。バスの走行路を「間借り」している間は機能が大きく低下してしまう。早急に道路中央部に専用走行路を作る必要があると思ふ。戦後長い間、行政は公共交通に對しまともに向き合つてこなかつたが、BRTの運行により旧態依然とした公共交通に風穴を開けた。さらに新しいシナリオを描こうとしている。リタイアした団塊の世代をはじめ、クルマ離れの若者などサイレント・マジョリティーは公共交通の変革を求

めているのではないかと。およそ二十年後の全体像を作り上げ、夢を語り、市民から共感を得られるような取り組みをしてほしい。私たちも楽しいライフスタイルを模索し、まち歩きと共に、BRT(LRT)の利用方法をみんなで前向きに考える時ではないでしょうか。

ガイド日誌

料亭の味と芸妓の舞



加藤 文夫

三月四日「料亭の味と芸妓の舞」の新潟花街まち歩きで、二人の方をガイドしました。お客様は中年の男女お二人でいずれも市内の方でした。この日の会場は「蛸」です。女性の方はご主人の転勤で間もなく福島へ移り住むので、新潟の思い出づくりのための参加とのことでした。男性の方はご夫婦で申し込みでしたが、奥様が都合悪くご本人のみの参加

とのことでした。

ローサ出合いの広場から会場の「螢」までのまち歩きですが、この日のため下調べをし、コース地図を作成してお渡ししました。

お客様の関心は、料亭の味と芸妓の舞です。そのための理解が深まればとの思いでガイドをしました。

西堀通りでは新潟花街の成り立ちや歴史・堀のあったころの様子を地図と画像を交えてお話ししました。新堀通りから鍋茶屋通りに入ると、鍋茶屋の建物と風情ある石畳の通りになります。

鍋茶屋の玄関に置かれた人力車を見た女性の方は、「わあ：すごい」と大変興味をもたれた様子でした。鍋茶屋さんにお断りし、これをバックの写真を撮ってあげました。

坂内小路を横切り東新道に入ると、割烹「かき正」六軒小路の角に日本舞踊「市山流家元の稽古場と住宅」、茶屋「美や古」と風情ある建物が現れます。ほかにも新潟花街の特有の町屋建物が数多く建ち並び、驚いておりました。

狭い六軒小路から古町通りを横切り、西堀通りへ抜けると、新潟芸妓が所属す

る柳都振興(株)のある「三業会館」があります。会館内を案内し、新潟芸妓の一端に触れていただきました。最後は新潟の老舗ホテル「イタリア軒」です。ロビーに掲げられた創業者ピエトロ・ミリオールの写真の前に、ホテルの歴史の概要を紹介しました。会場の「螢」には予定の五分前に到着し、笑顔でお送りできました。



割烹 「螢」

中学生をガイドして



田辺 栄子

昨年十月九日(木)、新発田市立本丸中学校、二年生

百九十三人の総合学習が行われ、班に分かれ市内を歩きました。私は男子四人女子二人合わせて六人の班を担当し、「西大畑のお屋敷町コース」をガイドしました。

興味を持って二時間歩いてもらおうと、昔の様子がわかる写真、絵本や質問などを用意して臨みました。当日の様子です。西大畑公園では「公園ができる前は何か建っていましたか？」との質問に「ざり正解。」

「今は住宅が立ち並んでいますが、以前は砂浜が広がっていました。」と、絵本「ある池のものがたり」の絵を見せると驚いた様子。砂丘館の内に入ると、和室の多い建物は珍しいのかおしゃべりしながら楽しんで



西大畑公園



カトリック新発田教会

そう。「ネルソンの庭」や新潟カトリック教会では説明の後に「：では、旧県知事公舎は今、何処にありますか？」や「：カトリック新発田教会はどんな建物ですか？」など彼らのまちに関する質問も入れてみました。

まちを歩きながら中学生達は懸命に考え、メモをとったり、質問をしていました。皆さんには自分のまちをよく知り、誇りに思っているかと強く思いました。今度は新発田のまちを案内してくださいね。

立ち寄り

沼垂テラス



斎藤 勝子

沼垂は昨年、新潟との合併百周年を迎え、「えんどこ」記念のまち歩きも実施されて数多くのお客様の参加がありました。一方で、町並みを案内する度にシャッター通りも増え、寂しく感じていました。しかし最近、元気をもらえる場所があります。そこは石井小路、

かつては活気あふれる朝市場通り。錆びついたシャッターの向こう側に工場の煙突が見え、昭和三十年代の景色が残るこの場所に若い人が次々と出店しています。この二月に経済大学の先生と学生さんよりガイド依頼がありました。ぜひ「沼垂のテラス」へというご要望があり、テラスオフィス田村社長様よりお話を伺ったり、店を覗くこともできて皆さんに楽しんで頂きました。

「沼垂という地名が全国の人々に正しく読んでもらう事、この場所をまず知ってほしい」というのが田村社長様と出店の若い方々の願いでした。この四月五日にはドシャ降りの雨の中、朝市が開催されました。出店もさらに増え、多数のお客様で道路も各店も一杯で大変な賑わいでした。



石井小路のお洒落なお店

沼垂はガイド回数を重ねるたびに奥深く、魅力を感じますが、神社仏閣を訪ねる中で郷愁とノスタルジックを感じさせるテラスに立ち寄りお客様とともに楽しんでみては如何でしょうか。

おすすめスポット

沼垂定住
三百年記念の碑



諸橋 紘一

栗ノ木バイパス沿い、沼垂東四に、「沼垂定住三百年記念の碑」がある。

石碑は菅谷産の珍しい虎石で、往時の料亭・三楽荘の高山雄次郎氏が庭石を寄贈された。「碑の由来書」には、沼垂の紀元と歴史を簡潔にまとめ、大河の氾濫と闘い続けた、沼垂の先人達の苦勞を鮮やかに伝えている。

ところ、付近の方にもその存在や由来をご存知ない方も多く、沼垂の重い歴史の証となる碑は、眠っていたのである。
日本書紀に大化三年「淳足柵」とありこれが沼垂町

の発祥とされ山の下王瀬・物見山辺が、多くの推測地の中でも有力なひとつであり、歴史好事家には堪らない興味である。
爾来、大河の変遷により寛永の移転から貞享元年まで四回の移転を繰り返して



沼垂定住
三百年記念の碑

そして五度目の地、現長嶺に定住した。三百年後の昭和五十九年に、碑は建立されたのである。

ちなみに、碑誌、八島正二氏は、「沼垂の今昔を語る会」初代会長で、会員の間島勝利兄の叔父上であらせられる。昨今、ガイドの機会に恵まれてか、碑付近は除草されている。地元有志方々に感謝をする。

野外彫刻に魅せられて



横山 幸子



青年の像

他にも同展の初期に文化賞を受賞した千野茂、関口

白山セントラルパークの豊かな緑と光の中で、「郷土の美の巨匠たち」の力作が、今も輝きを放っていることに驚きです。
第二次世界大戦の終戦の年の秋に、戦争による荒廃のさなか「今こそ美術文化のエネルギーで明るさを取り戻そう」と、地元新聞社の主催で県展の前身「第一回文化祭新潟美術展」が全国に先駆けて開催されています。

そこで彫刻部門の審査員として活躍された、渡辺徹氏（昭和十六年、新文展特選・日展審査員・白山浦出身）の五作品が公園内において鑑賞できます。中でも陸上競技場正面の、右手に月桂樹を高く揚げもつ力作、「青年の像」は、昭和三十九年新潟国体記念に制作、以来集う若者・市民らにエールを送ってきています。

企画委員会の一員として



月橋 邦典

昌孝、金子直裕各氏の力作もあり、抑圧から自由へと戦後の郷土の美術史を創った巨匠たちの生命力・表現力溢れる作品を歩いて楽しめる必見コースです。

我が新潟シティガイドも設立満7年、本年度八年目に入ります。

企画委員会も当会の一組織として現在構成員六名で活動をしています。
各委員は仕事や他のガイド、ボランティア団体と重複しつつ制約や諸事情を抱えながらの活動であり会合に全員が揃う事がむしろ珍しいのが実情です。

この様な状況の下、会合は月一回程度、全員が三期生、卓越した力量も又複数コースを熟知した先輩スパーガイドには及びもつかぬ劣等生の小生を除き極々平均的な一般会員であります。十人十色、各人が長い人生経験から培われた価値観、倫理観、人生観、個性から意見が異なるのは当然の事で六人六様の思惑の違い

はむしろ多様な複眼的視野となり集約出来ればプラス要素となり得ると考えています。
そこで会合の際は事前に議題を提示し自己の意見を持って出席する事とし、相互理解の上で活発な議論や協議を行い、その中から練成された一つの企画案を作り上げ協力や実践出来れば更に良いと思っています。



企画委員会開催模様

「ONE FOR ALL, ALL FOR ONE」最近時々耳にするフレーズで「一人は皆の為に、皆は一人の為に」この様に和訳されるスポーツラグビーの基本精神を表す言葉です。ラグビーは十五人で戦いますが最も大切な事はチームワーク精神の体現を忠実に求め且つ求められるワイルド且つタフな競技です。
我々も各々の長所を發揮し不足未熟箇所を補完し合えばそこその成果ならば達成可能であると考えています。

平成二十六年年度のガイド活動実績が纏まりました。その結果を対前年比と比較致しますと、通常ガイド、団体ガイドとも、昨年度より利用者数が伸びています。

ガイド実績

何故なら我々は完璧な百点満点を目標とせず（望むべくもなく）過半数即ち五十一%以上の参加者からドッペリ坂の階段数の如く六十点の及第点が頂ければオーケー、万が一、それ以上の評価を頂けたら委員会としては無常の喜びです。もう一点は「継続」するという事です。会後は後世に残してこそ意味があります。その為に創設時精神を基盤に皆様と意識を共有し、環境やニーズの変化に対応し改善努力を重ねた後に継続を図る事が肝要だと考えています。こんな企画委員会ですが何よりもお客様や会員の皆様の満足度と笑顔が我々にとって掛け替えのないエネルギーとなりません。微力な企画委員会に会員各位のたいなるご指導、ご鞭撻、ご協力を賜ります様お願いを申し上げます。

平成26年度 新潟シティガイド実績・分析

全ガイド実績				利用者数から比較した基本コース別・企画別上位				
分類		件数	人数	順位	基本コース	件数	人数	
ガイド実績 (500円)	基本コース	下町	38	168	1	上古町・本町界限今昔物語コース	3	81
		西大畑	29	147	2	下町お店巡りうめえもんコース	9	53
		白山	6	90	3	西大畑のお屋敷町コース	15	50
		沼垂	8	43	4	にいがた湊・歴史散策コース	13	43
		小計	81	448	5	萬代橋・古町花街浪漫コース	3	40
	外部企画等	236	1,789	順位	企画別	件数	人数	
	小計	317	2,237	1	えんでこ	36	931	
団体ガイド (出動費)	小・中学(1,000円)	3	356	2	予約のいないまち歩き(D・C含む)	123	267	
	官庁・団体(2,000円)	5	155	3	特別企画(含む豪商の館2館巡り)	31	218	
	小計	8	511	4	湊まち新潟歴史ウォーク	3	90	
合計		325	2,748	5	料亭の味と芸妓の舞	20	50	

-- 会員紹介 --

会員名	写真	住所	趣味	関心あること	抱負
伊藤 恭子 (西大畑G)		東区	新潟の歴史 散歩 古文書解読	新潟の歴史 と文化	初心忘るべからずで、お客様から楽しい！という言葉を引き出したい。
伊藤 頼子 (下町G)		江南区	まち歩き イラスト	人と町、これに尽きます。	新潟の魅力をお伝えたい、ヒトとマチをつなぐガイドになりたいと思っています。
河原佐知子 (西大畑G)		西区	料理(和食) 読書 はた織り	犬とのより 良い共同生活・健康	新潟の魅力を知るにつれ感動と感謝です。この思いをお客さまと共有したい。
斎藤 敬子 (白山G)		中央区	家庭菜園 ウォーキング 読書	新潟の歴史 理解・北国 街道Walk	新潟の楽しさをお伝えするには自らも楽しむ事。コースをよく歩き、体感したい。

その原因としては、三月末の「スペシャル」や、学校関連の新規展開があったことによる。基本コースでは、件数、利用者数で見ると、下町エリア、西大畑エリアの利用が多い傾向ですが、通常ガイド全体の二割に止まり課題を残した。企画別では、やはり、「えんでこ」での集客が約四十%強と相変わらずお

● 楽しい出会や感動のまち歩き、皆様の投稿を待っています。次は、あなたの出番です！！
● HP・チラシがリニューアルされました。有効に使って下さい。

きな比重を占めております。利用者は、地区別では、市内が七十%強、男女別では、女性六十一%と例年に近い割合比となっております。

編集後記

百花繚乱の季節を迎えました。当会も各方面のご支援を頂きながら、八年目を迎えます。

「お客様に喜んで頂く」「自分も楽しみたい充実する」「新潟の町の人々にも喜んで頂く」即ち、「三方一両得」の考え方で活動が出来ればと思っております。でも、「言うは易く、行うは難し」です。一層精進して参りたいものです。

最後に、この度、年度末始のご多忙の所、当会の広報紙にご寄稿して頂きまして本間 彊氏に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

勝見 進